

東アフリカで 国際協力をシゴトにする

ーフィールドワークと現場の「リアリティ」

「国際協力のシゴト」って、想像できますか？ 具体的にはどのような技術や知識が必要で、どのような仕事があるのでしょうか。今回の講演会では、東アフリカにおいて長年、国際協力や外交分野で仕事をしてきた溝内克之さんに、ご自身の経験を振り返りながら、お話いただきます。キーワードは「フィールドワーク」と「リアリティ」。



講師：溝内克之氏（在タンザニア日本大使館専門調査員）

1999年、京都文教大学文化人類学科在学時に青年海外協力隊に参加。その後、東アフリカに14年滞在し、調査研究、国際協力や外交に携わっている。本当の専門は柔道だが、ボランティア事業、タンザニアの政治・経済・社会情勢の分析などをシゴトとしている。最近では「アフリカビジネス」、特に東アフリカの水産業の育成にも関わっている。

- 日時：2022年10月12日(水)13:00－14:30
- 場所：小平キャンパス H310教室（国際協力論（3）の講義内）

*津田塾大学の在学生・教職員の方なら、受講生以外の聴講も歓迎します。